

ツキノワグマの被害に遭わないために



町内ではツキノワグマの出没・目撃が多発しています。クマの被害に遭わないため、次のことに注意しましょう。

クマに出会わないため

1. 鈴や笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、人間の存在をクマに知らせましょう。
2. 天気の悪い日や川の周りでは、音や風向きで、クマも人も気づきにくくなります。見通しの悪い場所には行かないようにしましょう。
3. クマは早朝や夕暮れ時に行動します。その時間帯には、山に入るのを控えましょう。
4. フンや足跡を見つけたらすぐに引き返しましょう。
5. 山では、出来るだけ二人以上で活動しましょう。

クマに出会ってしまったら

1. 遠くにクマを見つけたら、あわてず、静かに、急いで立ち去りましょう。
2. 近くで出会ってしまったら、大声で騒がないようにしましょう。
3. クマは逃げるものを追う習性がありますので、クマから目を離さないようにし、ゆっくりと後退してください。
4. 至近距離で出会ってしまった場合、リュックなど持っている荷物を一つずつ置いていき、クマの注意を別のものに向け、興味をそらしながら後退することも有効です。
5. それでも襲ってきた場合は、首の後ろで手を組み、うつ伏せで丸くなり、去るのを待ちます。
6. 子グマの近くには母グマがいる可能性が非常に高いので、かわいいからといって近づくのはやめましょう。

クマに出会って、冷静に行動できる人は多くいません。**出会わないことが最も重要**です。

クマの目撃や足跡を見つけたら、役場農業振興課までご連絡ください。

【お問い合わせ先】 役場農業振興課 情報 31-5285 / 電話 54-2513

終戦当時の引揚者およびそのご家族の方々へ

引揚時に保管した通貨・証券などをお返ししています

税関では、お預かりしている次の通貨・証券などをお返ししています。

- ◆ 終戦後、外地から引き揚げてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通貨・証券など
- ◆ 外地の集結地において総領事館、日本人自治会などに預けられた通貨・証券などのうち日本に返還されたもの

返還の申し出は、本人だけでなく、家族の方でも結構です。

お心あたりの方は、上陸港を所轄する税関又は境税関支署へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 境税関支署 電話：0859-42-2228 / FAX：0859-42-3893



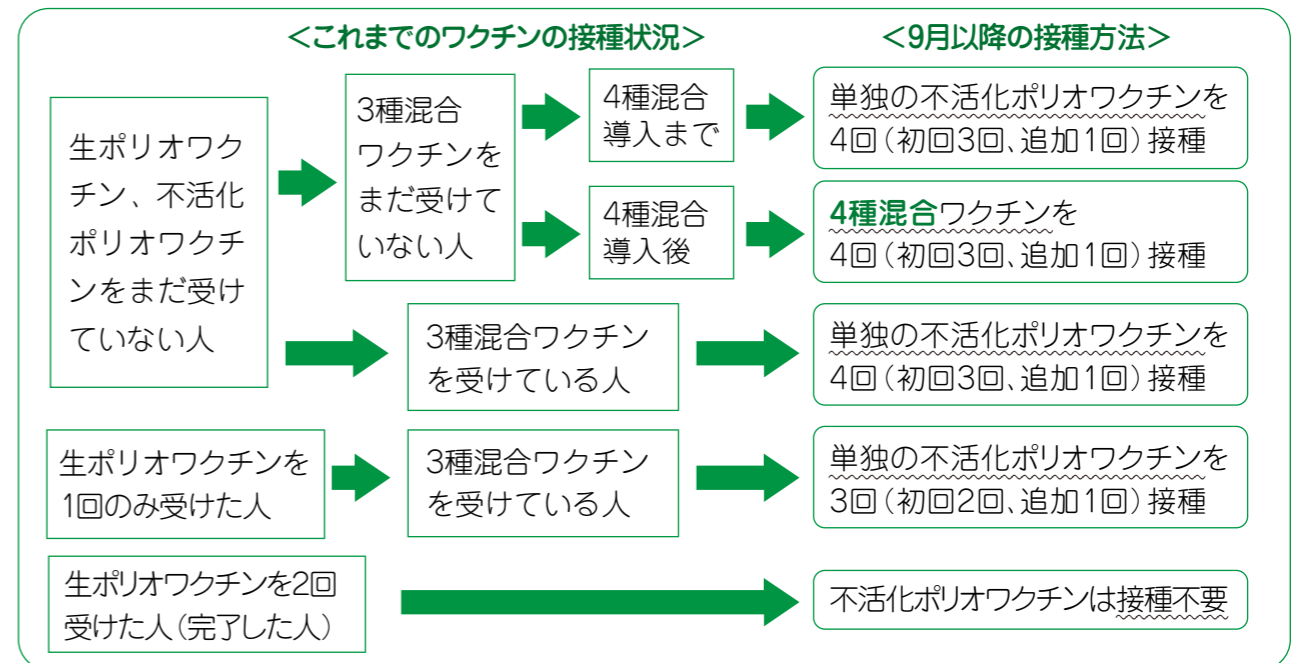
ポリオワクチン予防接種の実施方法が変わります

これまで、生ワクチンの経口投与で実施していたポリオ予防接種が、今年9月から不活化ポリオワクチンの注射に変わります。9月までのワクチン接種状況に応じ、不活化ポリオワクチンの接種方法が異なります。(11月から4種混合ワクチン^(※注1)も導入される予定です。)

(※注意1：4種混合ワクチン(不活化ポリオ + 百日咳・ジフテリア・破傷風3種混合))

対象年齢：生後3か月から90か月(7歳6か月)まで

予防接種の回数：不活化ポリオワクチンは、4回(初回3回、追加1回)の接種が必要です



ロタウイルス・おたふくかぜ・水ぼうそうの予防接種について

今年7月から、予防接種が無料で受けられるようになりました。医療機関への事前予約が必要です。

《予防接種の対象者と回数》 奥出雲町に住所のある方

◇ ロタウイルス：生後6週～24週(0日)まで 2回(4週間隔)

◇ おたふくかぜ：1歳～6歳未満 1回

◇ 水ぼうそう：1歳～6歳未満 1回

予防接種実施医療機関

町立奥出雲病院・井上医院・
永生クリニック・石原医院分院・
町立馬木診療所

【お問い合わせ先】 役場健康づくり推進室(奥出雲健康センター内) 有線：31-5784 電話：54-2781

耐震改修等にかかる費用の一部を助成します

～奥出雲町木造住宅耐震化促進事業補助金～

一定の条件を満たす木造住宅の耐震改修に対して、その耐震改修等にかかる費用の一部を助成します。

この補助金の詳細については、役場財産管理室までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】 役場財産管理室 情報：31-5231 / 電話：54-2530